

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ インカム・ナビゲーター<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)」は、このたび、第96期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界の様々な債券等を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ

インカム・ナビゲーター

<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)

追加型投信 / 内外 / 債券



<為替ヘッジなし (毎月決算型) > <為替ヘッジあり (毎月決算型) >

第96期末 (2023年11月20日)		第96期末 (2023年11月20日)	
基準価額	9,822円	基準価額	7,857円
純資産総額	43百万円	純資産総額	10百万円
第91期～第96期		第91期～第96期	
騰落率	10.7%	騰落率	△ 0.9%
分配金(税込み)合計	120円	分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

交付運用報告書

第91期 (決算日 2023年6月19日)

第92期 (決算日 2023年7月18日)

第93期 (決算日 2023年8月18日)

第94期 (決算日 2023年9月19日)

第95期 (決算日 2023年10月18日)

第96期 (決算日 2023年11月20日)

作成対象期間 (2023年5月19日～2023年11月20日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル: (03) 6447-3100

(受付時間: 毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>

右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。



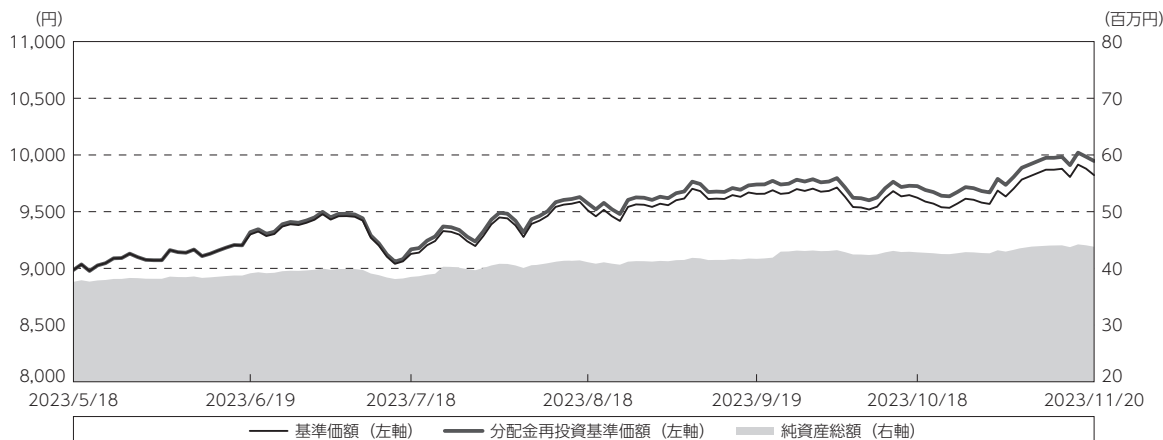
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

インベスコ インカム・ナビゲーター<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年5月19日~2023年11月20日)



第91期首：8,986円

第96期末：9,822円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：10.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年5月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界のさまざまな債券などを実質的な主要投資対象とし、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行った結果、保有する債券からの高水準のインカムゲイン(利息収入)を享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境に応じた資産配分を行った結果、当作成期を通じてみると、米国金利が上昇したものの、信用スプレッド(国債との利回り格差)が縮小したことなどを背景に、ファンドの投資対象である5つの主要債券市場のうち、4つの債券市場(投資適格社債、新興国債券、ハイ・イールド債券、バンクローン(ローン担保証券(CLO)))が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・米ドル建ての資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、当作成期を通じてみると米ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・市場環境に応じた資産配分を行った結果、当作成期を通じてみると、証券化商品市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年5月19日~2023年11月20日)

項目	第91期~第96期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 44	% 0.464	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.084)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.363)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	6	0.067	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.015)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.041)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	50	0.531	
作成期間の平均基準価額は、9,442円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

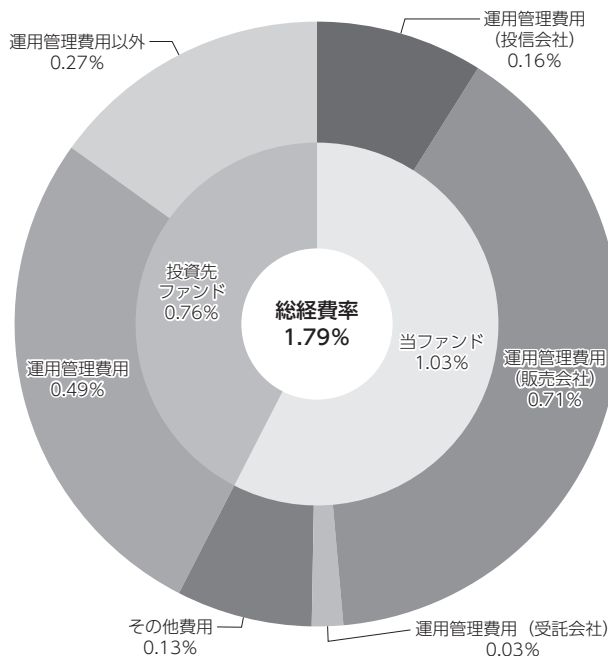
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.79
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.27

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月19日～2023年11月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月19日 決算日	2019年11月18日 決算日	2020年11月18日 決算日	2021年11月18日 決算日	2022年11月18日 決算日	2023年11月20日 決算日
基準価額 (円)	8,154	8,310	7,839	8,514	8,966	9,822
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.9	△ 2.8	11.8	8.3	12.5
純資産総額 (百万円)	30	31	30	34	37	43

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、投資適格社債、バンクローン*、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品など日本を含む世界の様々な債券等を実質的な主要投資対象とし、長期の市場見通しに基づく戦略的資産配分をベースとしながら、市場環境に応じた資産配分の変更と個別銘柄選択を組み合わせた柔軟な運用を行うことから、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

*バンクローンへの投資はローン担保証券（CLO）などへの投資を通じて行います。

投資環境

(2023年5月19日~2023年11月20日)

投資適格社債 (Bloomberg Global Aggregate Credit Index (米ドルヘッジ))	+1.1%
新興国債券 (Bloomberg EM Hard Currency Aggregate Index (米ドルヘッジ))	+1.8%
ハイ・イールド債券 (Bloomberg Global High Yield Index (米ドルヘッジ))	+5.2%
バンクローン (S&P LSTA Leveraged Loan Index (米ドルベース))	+6.9%
証券化商品 (Bloomberg Global Aggregate Securitized Index (米ドルヘッジ))	△1.2%
米ドル/円 149円95銭 (前作成期末 137円62銭)	

※各債券などの騰落率は作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円は作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、米国10年国債利回りは上昇 (債券価格は下落) しました。米国10年国債利回りの推移を見ると、作成期初は景気の底堅さから利上げが続くとの観測が高まったこと、米国政府の債務上限問題が嫌気されたこと、米連邦準備理事会 (F R B) が利上げを再度行ったことなどを背景に、上昇基調で推移しました。作成期後半には、堅調な雇用などを背景に米国景気が底堅い推移となっていること、またそれに伴いF R Bが政策金利を従来の想定よりも長期にわたり高い水準に維持するとの観測が強まったことを受け、米国国債利回りは幅広い年限で上昇し、作成期末を迎えました。

債券種別では5つの主要債券市場 (投資適格社債市場、新興国債券市場、ハイ・イールド債券市場、バンクローン市場、証券化商品市場) において、保有する債券およびローンからの高水準のインカムゲインを享受したことが、プラスに寄与しました。また、ベース金利となる米国国債利回りが上昇したものの、信用スプレッドが縮小したことで、4つの債券市場 (投資適格社債、新興国債券、ハイ・イールド債券、バンクローン) のリターンがプラスとなりました。

<為替市場>

当作成期間中、米ドルは対円で上昇しました。作成期を通してみると、日銀が大規模な金融緩和政策を維持したこと、米国景気の底堅さからF R Bが金融引き締め政策を長期化するとの観測が広がったことを受け、米国の長期金利が上昇したことなどから日米金利差が拡大し、作成期末近くに一時1米ドル=151円台まで米ドル高/円安が進行する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月19日~2023年11月20日)

インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、日本を含む世界のさまざまな債券などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド クラスC-QD (米ドルヘッジ) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として投資適格社債、バンクローン、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。当作成期間中の資産配分については、長期の市場見通しに基づく資産配分を行った結果、投資適格社債、バンクローン、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品にバランス良く分散投資しました。

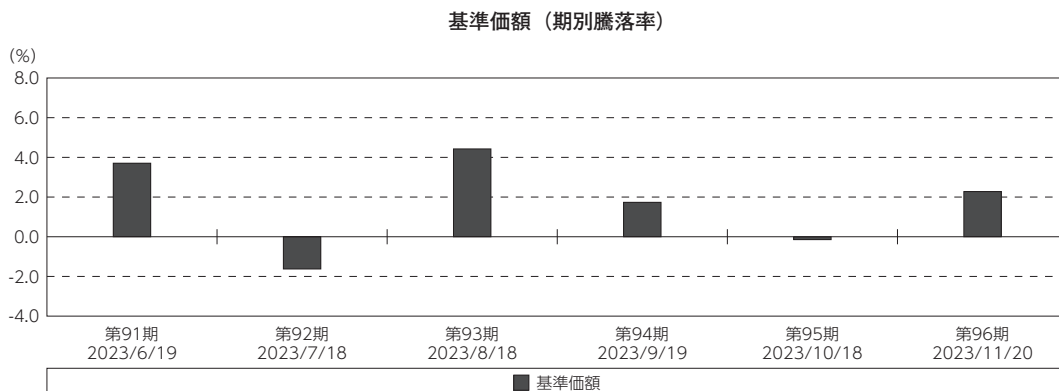
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月19日~2023年11月20日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

分配金

(2023年5月19日～2023年11月20日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第91期から第96期まで1万口当たり20円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2023年5月19日 ～2023年6月19日	2023年6月20日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月18日	2023年8月19日 ～2023年9月19日	2023年9月20日 ～2023年10月18日	2023年10月19日 ～2023年11月20日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.215%	0.219%	0.210%	0.207%	0.207%	0.203%
当期の収益	－	－	－	20	－	－
当期の収益以外	20	20	20	－	20	20
翌期繰越分配対象額	7,104	7,084	7,064	7,236	7,216	7,196

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界のさまざまな債券などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド クラスC-QD(米ドルヘッジ)に投資を行います。同外国投資信託では、主として投資適格社債、バンクローン、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。資産配分については、長期の市場見通しに基づき、戦略的資産配分をベースとしながら市場環境に応じて機動的に変更していく方針です。個別銘柄選択については、ボトムアップにより魅力的な銘柄を組み入れていく方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

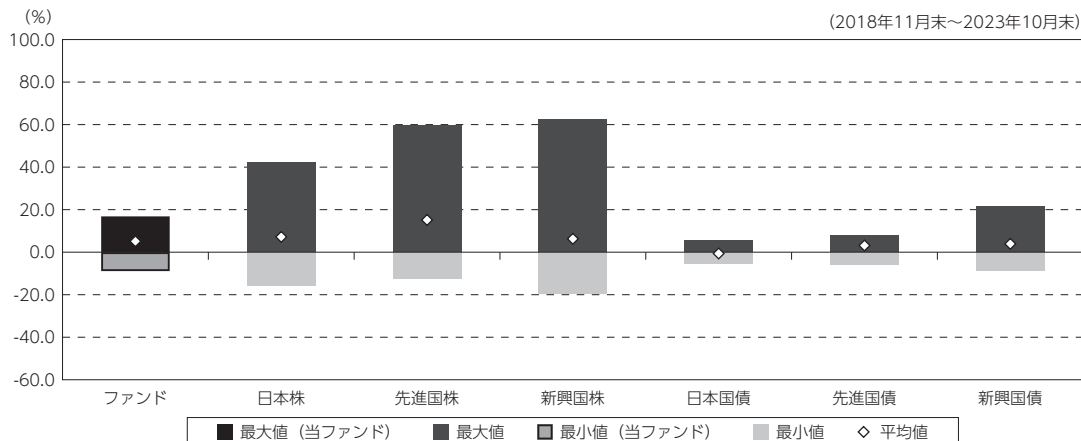
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2025年12月18日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の様々な債券等に実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ インカム・ナビゲーター<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	「インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として日本を含む世界の様々な債券等に実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド クラスC-QD (米ドルヘッジ) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として日本を含む世界の様々な債券等に実質的に投資します。 ・トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時 (毎月18日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.1	7.2	15.2	6.3	-0.6	3.1	3.9
最大値	16.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-8.9	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

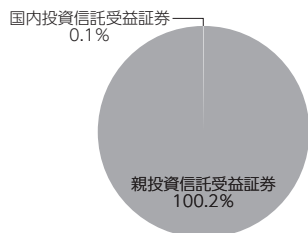
○組入上位ファンド

銘柄名	第96期末
インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド	100.2%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1%
組入銘柄数	2銘柄

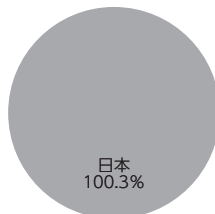
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

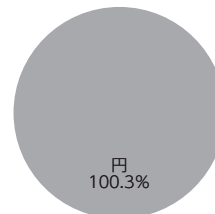
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2023年6月19日	2023年7月18日	2023年8月18日	2023年9月19日	2023年10月18日	2023年11月20日
純資産総額	39,132,739円	38,494,890円	41,084,239円	41,679,047円	42,825,880円	43,812,382円
受益権総口数	42,083,057口	42,171,461口	43,192,758口	43,160,751口	44,502,063口	44,607,353口
1万円当たり基準価額	9,299円	9,128円	9,512円	9,657円	9,623円	9,822円

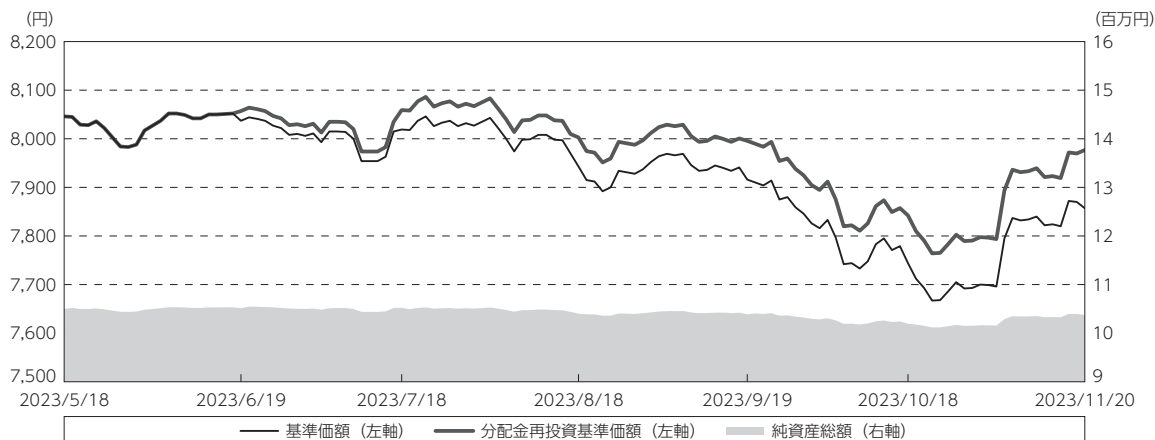
* 作成期間 (第91期～第96期) 中における追加設定元本額は3,469,706円、同解約元本額は740,512円です。

インベスコ インカム・ナビゲーター<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年5月19日~2023年11月20日)



第91期首：8,046円

第96期末：7,857円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：△ 0.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年5月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界のさまざまな債券などを実質的な主要投資対象とし、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行った結果、保有する債券からの高水準のインカムゲイン(利息収入)を享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境に応じた資産配分を行った結果、当作成期を通じてみると、米国で金利が上昇したものの、信用スプレッド(国債との利回り格差)が縮小したことなどを背景に、ファンドの投資対象である5つの主要債券市場のうち、4つの債券市場(投資適格社債、新興国債券、ハイ・イールド債券、バンクローン(ローン担保証券(CLO)))が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- 市場環境に応じた資産配分を行った結果、当作成期を通じてみると、証券化商品市場が下落したことが基準価額の下落要因となりました。
- 実質外貨建資産について対円で為替ヘッジを行ったため、米ドルと円の金利差であるヘッジコストが高水準で推移したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年5月19日～2023年11月20日)

項目	第91期～第96期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 37	% 0.464	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(7)	(0.084)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.363)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	5	0.066	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.016)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(3)	(0.039)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	42	0.530	
作成期間の平均基準価額は、7,917円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

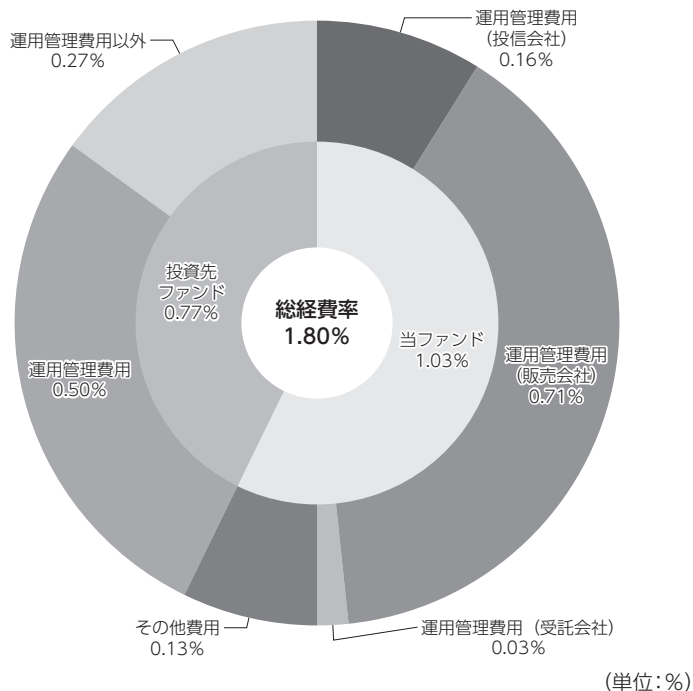
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率(①+②+③)	1.80
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.50
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.27

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

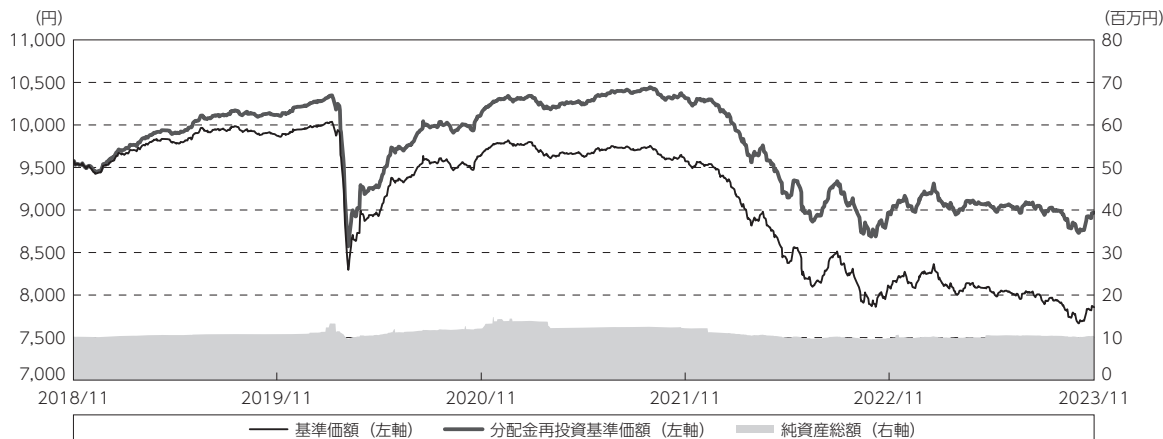
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月19日～2023年11月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月19日 決算日	2019年11月18日 決算日	2020年11月18日 決算日	2021年11月18日 決算日	2022年11月18日 決算日	2023年11月20日 決算日
基準価額 (円)	9,578	9,874	9,642	9,574	8,099	7,857
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.6	0.2	1.8	△ 13.0	△ 0.0
純資産総額 (百万円)	10	10	12	12	9	10

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、投資適格社債、バンクローン*、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品など日本を含む世界の様々な債券等を実質的な主要投資対象とし、長期の市場見通しに基づく戦略的資産配分をベースとしながら、市場環境に応じた資産配分の変更と個別銘柄選択を組み合わせた柔軟な運用を行うことから、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

*バンクローンへの投資はローン担保証券（CLO）などへの投資を通じて行います。

投資環境

(2023年5月19日~2023年11月20日)

投資適格社債 (Bloomberg Global Aggregate Credit Index (米ドルヘッジ))	+1.1%
新興国債券 (Bloomberg EM Hard Currency Aggregate Index (米ドルヘッジ))	+1.8%
ハイ・イールド債券 (Bloomberg Global High Yield Index (米ドルヘッジ))	+5.2%
バンクローン (S&P LSTA Leveraged Loan Index (米ドルベース))	+6.9%
証券化商品 (Bloomberg Global Aggregate Securitized Index (米ドルヘッジ))	△1.2%
米ドル/円 149円95銭 (前作成期末 137円62銭)	

※各債券などの騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、米国10年国債利回りは上昇 (債券価格は下落) しました。米国10年国債利回りの推移を見ると、作成期初は景気の底堅さから利上げが続くとの観測が高まったこと、米国政府の債務上限問題が嫌気されたこと、米連邦準備理事会 (F R B) が利上げを再度行ったことなどを背景に、上昇基調で推移しました。作成期後半には、堅調な雇用などを背景に米国景気が底堅い推移となっていること、またそれに伴いF R Bが政策金利を従来の想定よりも長期にわたり高い水準に維持するとの観測が強まったことなどを受け、米国国債利回りは幅広い年限で上昇し、作成期末を迎えました。

債券種別では5つの主要債券市場 (投資適格社債市場、新興国債券市場、ハイ・イールド債券市場、バンクローン市場、証券化商品市場) において、保有する債券およびローンからの高水準のインカムゲインを享受したことが、プラスに寄与しました。また、ベース金利となる米国国債利回りが上昇したものの、信用スプレッドが縮小したことで、4つの債券市場 (投資適格社債、新興国債券、ハイ・イールド債券、バンクローン) のリターンがプラスとなりました。

<為替市場>

当作成期間中、米ドルは対円で上昇しました。作成期を通してみると、日銀が大規模な金融緩和政策を維持したこと、米国景気の底堅さからF R Bが金融引き締め政策を長期化するとの観測が広がったことなどを受け、米国の長期金利が上昇したことなどから日米金利差が拡大し、作成期末近くに一時1米ドル=151円台まで米ドル高/円安が進行する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月19日～2023年11月20日)

インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、日本を含む世界のさまざまな債券などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといいます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド クラスC-QD（米ドルヘッジ）に投資を行いました。同外国投資信託では、主として投資適格社債、バンクローン、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。当作成期間中の資産配分については、長期の市場見通しに基づく資産配分を行った結果、投資適格社債、バンクローン、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品にバランス良く分散投資しました。

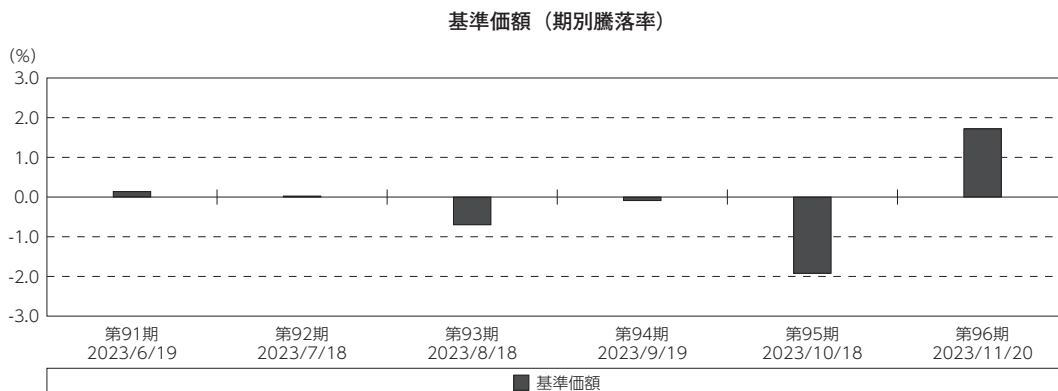
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月19日～2023年11月20日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率（分配金込み）です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2023年5月19日～2023年11月20日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第91期から第96期まで1万口当たり20円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2023年5月19日 ～2023年6月19日	2023年6月20日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月18日	2023年8月19日 ～2023年9月19日	2023年9月20日 ～2023年10月18日	2023年10月19日 ～2023年11月20日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.248%	0.249%	0.251%	0.252%	0.258%	0.254%
当期の収益	—	—	—	20	—	—
当期の収益以外	20	20	20	—	20	20
翌期繰越分配対象額	8,318	8,298	8,278	8,414	8,394	8,374

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界のさまざまな債券などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド クラスC-QD(米ドルヘッジ)に投資を行います。同外国投資信託では、主として投資適格社債、バンクローン、新興国債券、ハイ・イールド債券、証券化商品などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。資産配分については、長期の市場見通しに基づき、市場環境に応じて機動的に変更していく方針です。個別銘柄選択については、ボトムアップにより魅力的な銘柄を組み入れていく方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

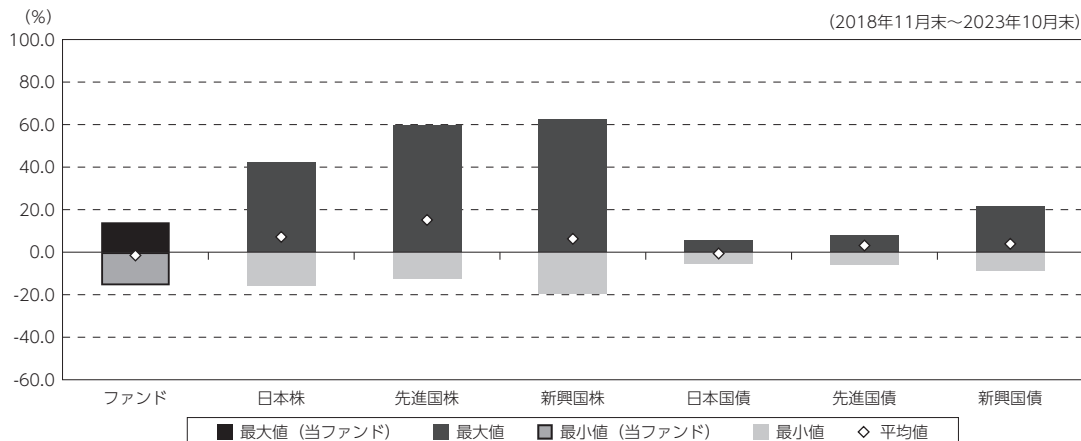
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2025年12月18日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の様々な債券等を実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ インカム・ナビゲーター<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	「インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として日本を含む世界の様々な債券等を実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド クラスC-QD (米ドルヘッジ) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として日本を含む世界の様々な債券等を実質的に投資します。 ・トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
分配方針	原則として毎月の決算時 (毎月18日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-1.5	7.2	15.2	6.3	-0.6	3.1	3.9
最大値	14.1	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-15.6	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

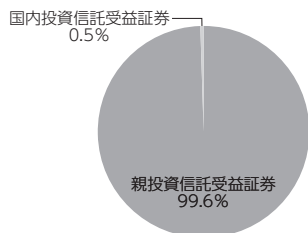
○組入上位ファンド

銘柄名	第96期末
インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド	99.6%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.5%
組入銘柄数	2銘柄

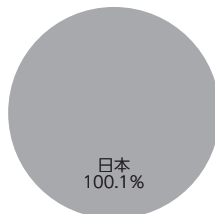
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

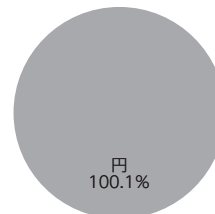
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2023年6月19日	2023年7月18日	2023年8月18日	2023年9月19日	2023年10月18日	2023年11月20日
純資産総額	10,512,701円	10,522,898円	10,402,378円	10,388,490円	10,194,379円	10,375,305円
受益権総口数	13,081,113口	13,123,157口	13,095,616口	13,123,020口	13,164,279口	13,205,634口
1万円当たり基準価額	8,037円	8,019円	7,943円	7,916円	7,744円	7,857円

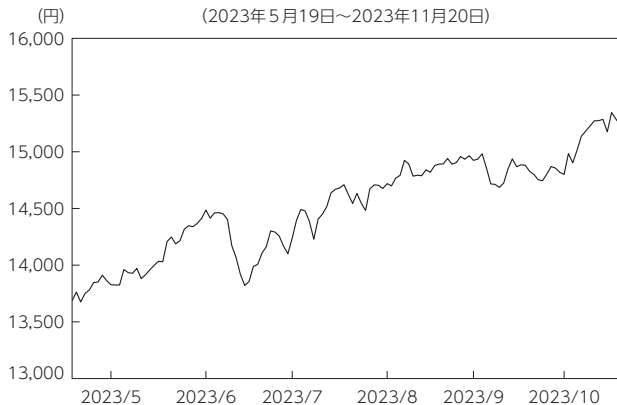
* 作成期間 (第91期~第96期) 中における追加設定元本額は244,510円、同解約元本額は84,316円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年5月19日～2023年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月19日～2023年11月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)	0.011 (0.011) (0.000)
合計	2	0.011

期中の平均基準価額は、14,499円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

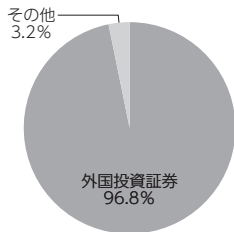
(2023年11月20日現在)

銘柄名	第16期末
インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド クラスC-QD	96.8 %
組入銘柄数	1銘柄

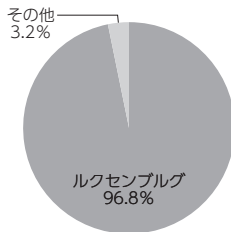
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

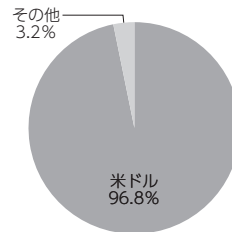
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド

「インベスコ インカム・ナビゲーター マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ サステナブル・マルチセクター・クレジット・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位10銘柄】

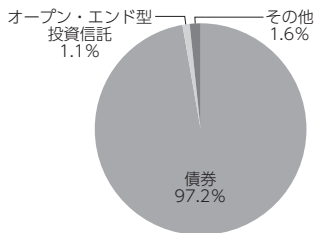
(2023年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Natixis Commercial Mortgage Securities Trust 2018-TECH 144A FRN 5.988% USD 15/11/2034	債券	2.0
2	Avis Budget Rental Car Funding AESOP LLC 144A 4.84% USD 21/08/2028	債券	1.9
3	Santander Drive Auto Receivables Trust 2022-3 4.49% USD 15/08/2029	債券	1.6
4	Santander Drive Auto Receivables Trust 2022-5 4.74% USD 16/10/2028	債券	1.5
5	Gatwick Airport Finance Plc 4.375% GBP 07/04/2026	債券	1.5
6	PetSmart Inc / PetSmart Finance Corp 144A 4.75% USD 15/02/2028	債券	1.4
7	Sapphire Aviation Finance II Limited 144A 4.335% USD 15/03/2040	債券	1.4
8	Invesco Liquidity Funds plc - Invesco Euro Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	1.1
9	SCIL IV LLC / SCIL USA Holdings LLC FRN 6.857% EUR 01/11/2026	債券	1.1
10	Q-Park Holding I BV FRN 4.716% EUR 01/03/2026	債券	1.1
組入銘柄数		316銘柄	

(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

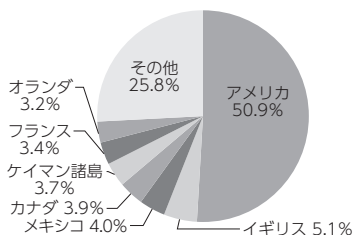
【資産別配分】



(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

【国別配分】



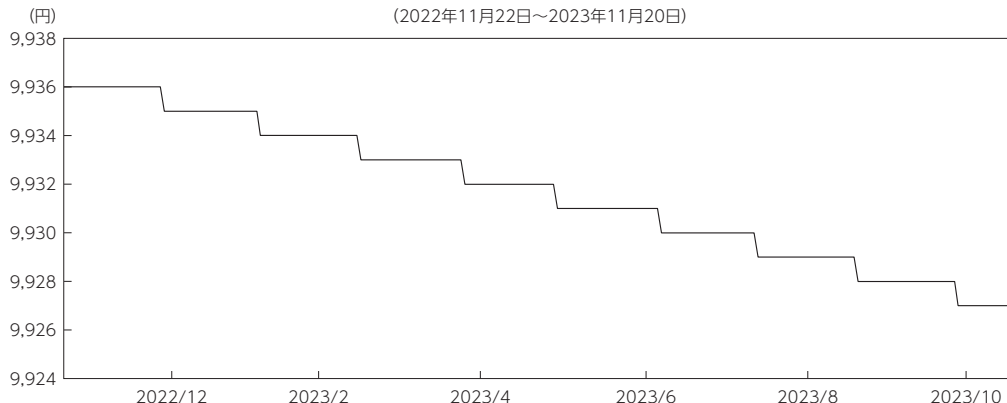
【通貨別配分】

必要な情報が開示されておりません。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2022年11月22日～2023年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、9,931円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

2023年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIX (東証株価指数) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社が MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社が JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は JPMorgan Chase & Co. 及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。